

真龍小便り



真龍小学校の子ども

つながりを求める子
かかわりを求める子
納得を求める子



平成30年6月20日発行 No.5

ゴールを目指せ!

7月のこよみ

校長 武田 昌彦

子どもの成長はよく木にたとえられることがあります。木の種が地面に落ち、発芽するその勢いには驚かされる程です。そして、その勢いは木の形を形成し始めるとゆっくりとなっていくきます。成長のためには水と空気、太陽の光、しっかりと根をはるための土が不可欠です。家庭・地域・学校の三者がこれになぞらえられます。成長中の子ども達は木の形はしていても茎はまだ緑色で木と呼ぶには少々早いような時期ではないでしょうか。しかし大きな根を張らないと茎も太く高く伸びません。しっかりした幹がないと葉が茂ることもありません。学校だけでは全ての条件は揃いません。ですから家庭・地域・学校の三者が手を取り合って大きな木になるよう一緒に育てていくことが大切なのです。

三者が手を取り合ったら、次は本人です。その木はどこに向かっていくのでしょうか。向う方向、それが目標になります。目指すものがあって努力できるのです。色々な体験、経験を積みます。木という枝分かれます。たくましい木になります。どこを目指すかの目標は大切です。で、どんな実を付けるのでしょうか。中学生の進路を担当していると「〇〇高校に行きたい」と志望校をしっかりと言う生徒が大半です。「〇〇高校で何をしたいの」と聞くと答えが返ってこないときもあります。さらに「〇〇高校を卒業したらその先はどうしたいの」と聞くと、答える生徒はぐっと減ります。目指すものが無いと頑張れる力は減少します。ですから目標はあった方が良いでしょう。「その先は見えてますか」と言いたいのです。前半に木の成長について書きましたが、木は大きくなるためだけに成長するのではなく、実を付け、種を残すために成長し、大きくなるのです。枝を伸ばすだけではないのです。どんな花を咲かせ、どんな実を結ぶのか。ゴールが見えています。目標もゴールがしっかり見えていると努力する甲斐もあるというものです。年齢と共に目標も憧れから現実に、目指すものから到達するゴールへ、努力するためのゴールを目標にしてほしいものです。

さて、6月24日(日)は本校の運動会。子どもたちが楽しみにしている行事の一つです。練習・準備は日を追う毎に進み、本番を待つばかりとなりました。

ぜひ、ご来校いただき、子どもたちの活躍に温かいご声援をお願いいたします。そして、子どもたち、保護者、地域の方々にとって、楽しい一日に成るよう願っています。

日	曜	行事
1	日	
2	月	
3	火	町研7月研究大会 特別日課
4	水	運動の日
5	木	参観日(1~3年)
6	金	市中パレード
7	土	港まつり
8	日	
9	月	生活リズムチェック週間 参観日(4~6年)
10	火	絵本箱読み聞かせ PTA会費納入日
11	水	
12	木	特別日課 大掃除週間(~7月20日)
13	金	特別日課 クラブ
14	土	
15	日	
16	月	海の日
17	火	
18	水	社明パレード 夏休み図書貸出(低)
19	木	夏休み図書貸出(中)
20	金	特別日課 クラブ PTA会費納入日 夏休み図書貸出(高)
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	前期第一ステージ終了 朝会(講話)
26	木	夏季休業開始 ステップアップ教室 生きがい大学
27	金	ステップアップ教室
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	

子ども達が競技に集中できる環境を

運動会を成功させるには、子ども達が競技に集中できる環境を作らなければいけません。子ども達が練習の成果を発揮するために、保護者、地域の方に気をつけていただきたいことを、以下にまとめましたので、ご協力お願いいたします。

□ 駐車場について

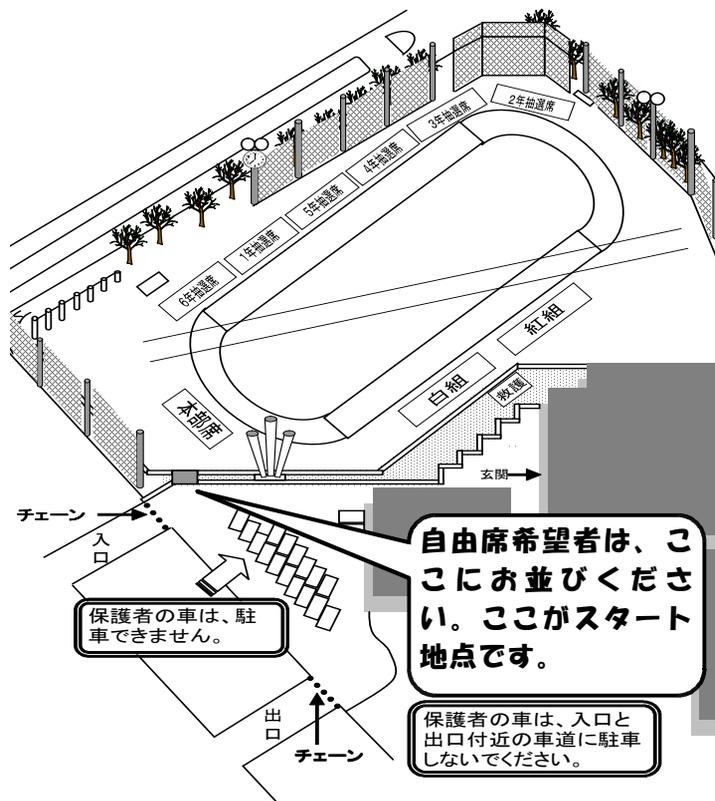
ご承知の通り、学校の駐車場は狭く限られた台数しか駐車できませんので、運動会に来られる多くの方の車を駐車できるスペースはありません。

万が一の接触事故を避けるため、緊急搬送に対応するスペースを確保するため、児童が校舎とグラウンドを移動する際に支障がないようにするため、安全管理上、**学校駐車場は保護者の方の車の駐車を全面禁止とします。但し荷物を降ろすのに一時的に停車するのは構いませんが、荷物を降ろした後は、すぐ車を移動していただきます。**

朝8時40分に通用門2箇所にチェーンをかけますので、保護者の車は進入禁止とします。また通用門付近の路上駐車は近所迷惑となりますので、駐車しないようにお願いします。

保護者の方の車は最寄の公共駐車場、児童館の駐車場、あやめ橋高架下、あみか向かいの駐車場等に駐車ください。路上駐車は止めてください。

運動会開催中の駐車に関する事故に対して学校としては一切責任をもてません。



□ 自由席について

○ 6月23日(土) 18:00に自由席を開放します。したがって、それ以前にシートやロープなどで座席を確保されている場合は、確保物を撤去します。

○ 自由席を希望する方は、学校駐車場前に並んでください。**割り込み禁止です。(開放入口は1か所です)**

○ 学年の抽選席以外は自由席となりますが、常識を超える広さでシートを広げることがないように、互いに譲り合って敷いてください。自由席にもマナーがあります。またテントなどを組み立てて席をとる場合は、自由席の最も後方をお願いします。

□ 抽選席について

抽選したのにもかかわらず引いた場所の良し悪しで座る、座らない、は止めてください。

*別紙でも、注意事項をお知らせしておりますので、熟読願います。

H30.7月のおすすめ本紹介

担当：学校司書 小島郁子

◇ 『WONDER』

○ R・J・パラシオ (作) ○ 中井はるの (訳) ○ ほるぷ出版 (発行)

【wonder】ワンダー・・・驚異、驚嘆、驚き、不思議、奇観、奇跡。

— 研究社・現代和訳辞典より

本の扉にこう書いてあります。この言葉に、この本が伝えたい事が全部表現されています。

オーガスト・プルマンはふつうの男の子。ただし、顔以外は。オーガストの外見は詳しくかかれていませんが、「奇観」と呼ぶのにふさわしい外見なことにはまちがいありません。オーガストを見た子どもが、「驚異」のあまり逃げ出すくらいですから。自分の見かけが普通じゃないことも、でも中味はどこにでもいる普通の10歳の男の子だということも、オーガストは知っています。

このオーガストが生まれて初めて学校に通う事になり、周囲や自分に様々な「驚き」や「驚嘆」、「不思議」を巻き起こします。そして最後にはすばらしい「奇跡」が、オーガストとその家族、そして学校みんなに起こります。

自分とは異なる他人に対する驚異が奇跡へと変わっていく、世の中はまさに【WONDER】に満ちあふれている事に気づかされる本です。大人の方にもおすすめします。ぜひ、お子さんと一緒に読んでみてください。学校図書室、厚岸情報館で所蔵しています。

